

きずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

第14回地域文化遺産スタディ

古河公方の時代とその周辺地域

元古河歴史博物館長が語る



鷹尾講師

平成30年2月25日(日)於…白岡市 はびすしら
おか 今回は少し範囲を広げ室町時代に茨城、古河を拠点に130年余り続いた「古河公方、関東足利氏」を取り上げました。講師は古河公方に造詣の深い元古河歴史博物館館長の鷲尾政市先生にお願いしました。当日はこの地域の歴史に興味がある方や、古河からの参加者も多数ありました。これまで鎌倉を追われ、逃げ



出すように古河にたどり着いたとされていた初代足利成氏は実は戦略的な意味で古河を目指したのではないかとの学説を基に新説が紹介された。当時の交通手段は水上であり古河近辺に渡良瀬川や利根川があり地の利あった事、周辺には足利氏を

支援する豪族が多数存在していた事などから幕府設置に理想的な地域であった事が挙げられます。又戦国時代は応仁の乱(1467)勃発で始まったとされる説が通説であるが、応仁の乱より13年前の足利成氏の起こした享徳の乱(1454、古河公方誕生)により始まり、豊臣秀吉による後北条氏滅亡(1590)により終結したとされる峰岸純夫氏(歴史研究家)の新説も披露された。歴史の再検証によりこれまでと違った見方がある事に参加した90名の皆様が

設立10周年記念講演会

(兼)地域文化遺産スタディのご案内
「武蔵野、心の原風景を語る」

期日 平成30年10月27日(土)15時〜場所 こもれびの森(白岡市生涯学習センター) 講師 赤坂憲雄氏(学習院大学教授・福島県立博物館館長)、専門は東北文化論と日本思想史「東北学」を掲げて地域学の可能性を問いかけてきたが、東日本大震災を経て東北学の第2ステージを模索中。「東北学



納得しているような様子でした。又この地域のかかわりについて、成氏は室町幕府(京都)にそむく事20数年、6度の改元にかかわらず享徳年号を使用、享徳5年に鷲宮神社に願文奉納、白岡八幡宮には鯛口を奉納しており、久喜の甘棠院では古河公方5代義氏の葬儀が営まれている。古河公方その後については徳川幕府により手厚く庇護され喜連川氏として現在も続いている。複雑な時代背景を家系図等を用いた丁寧な解説で戦国が蘇る2時間でありました。

設立10周年を迎えて

会長 田村 勝彦



お陰様で3月29日・設立10周年を迎えました。爾来、色々な事に挑戦し、遭遇し、縷々議論して都度、各位の努力と熱意で困難な活動や危機も乗り越え、今日を迎えました。10年の月・日は平坦なものではありません。山あり谷あり、時としてこころ折れそうな時が幾度か。縁(よすが)としたユネスコ憲章理念は日常と距離感を感じさせる事もありました

が地域・会員規模・財政基盤などの諸事情を勘案して適合する具体的活動を常に模索してまいりました。結果「私達の活動」と位置した事業は、地域文化の向上を目指し、先ずは、世界を知り、わが町を知る「学びの場の提供」を謳い、「国際文化スタディ」「地域文化スタディ」を取り上げました。会員相互の為に「文化遺産めぐり」「寺子屋講座」もはじめました。次世代に活動を継承したい念願で、USスクールとの協働作業も実施し、ESD普及運動も展開しております。記念事業として、昨年に続き、民俗学の巨匠・赤坂憲雄先生を迎え10月・講演を行います。年末は「記念誌」を上梓致します。斯様な活動を支えてくれた皆様に改めて、感謝と敬意を表します。愈々来年は関東ブロック研究会開催を控えますが皆様におかれましては、変わらぬご指導を賜る事切にお願い申し上げます。

第10回2018年度総会

蓮田市立中央公民館にて、平成30年度総会が開催されました。出席者15名、委任状21名計36名、会員数60名で3分の1以上の為総会成立。冒頭田村会長より10周年を迎えられたのも会員の皆様のお支えがあったと会員皆様への感謝があった。10周年の記念事業については①記念誌12月発行予定②第14回地域文化遺産スタディを記念事業として講師に民俗学で有名な赤坂憲雄先生(学習院大学教授)を迎え記念講演の実施(10/27)演題は「日本人の心の原風景」等を検討中。来年度の関東ブロック活動研究会 in 埼玉は蓮田市文化会館ハストピアにて10/5、6にて開催する。現在準備中であるが近く実行委員会を立ち上げ予定。今年度の茨城開催時、埼玉開催のPRを実施する。会員の皆様にもボランティアでの参加をお願いしたい。続いて、平成29年度の事業結果報告・決算、監査報告があり可決承認された。会長から人事の説明があり雲見理事の退任、新任理事3名紹介、

日・豪音楽交流会

バグパイプを聞く

蓮田中学校吹奏楽部訪問
(ユネスコスクールと交流)

5月29日(火)来日中の世界的海洋学者・グラハム・ホージ博士(演奏者)を福地先生と田村会長が駅にお迎えし、蓮田中学校を訪問、特別室に部員70名と安田教頭・猪俣教諭も参加され平賀理事司会のもと、アメージング・グレイスを演奏されました。その後、スライドにて楽器の説明、生徒による体験、質疑応答も盛んに行われ記念撮影にて楽しい課外授業となりました。



第18回文化遺産めぐり

6月9日(土)第18回文化遺産めぐりを実施致しました。梅雨入り直後で天候を心配致しましたが、晴天に恵まれ当会員であり第33次越冬隊長の福地光男氏をはじめ13名が参加しました。まず日本極地研究復興会吉田理事長さんよりカラフト犬ブロンズ像の前で厳冬の中で連れ帰ることが出来ず翌年まで生き延びていたタロ・ジロの説明があ



カラフト犬の銅像、東京タワーより移設されました。

全国一周自転車輪行

対馬更生(会員)



は道路の中央に投げ込まれました。これで人生は終わったと、覚悟し恐る恐る後ろを振り返りました。何と、幸運でしょう。車が来ていません。良かった!!(九死に一生とは、この事か)私は、右手、右膝に深い擦り傷。急遽バスに変更することになりました。広尾に戻り、バスの時間を確認。運よく10時20分に間に合いバスに乗って、襟裳岬に5kmの長いトンネルが2本。その他、短いトンネルが数本。自転車で走らなくて良かった。ケガはしたが、生きています。誰かに守られている感じがしました。襟裳岬は晴れていました。「襟裳の春は何もない春です」歌の通りでした。そんな、歌の歌詞が聞こえてきました。北海道を、2000km走りました。現在にお血糖値は7.0変わりません。ならば、何のために走ったのかと思いましたが、恐ろしい事。危険が一杯の自転車旅行。9月25日放送の、NHKプレミアムで火野正平の自転車輪行「こころの旅」を見ていたら、「感動」で心が高まり「私は、自転車が好きなんだ。だから走るんだ。」と思いました。

会員紹介

原田 仁



①原田 仁(はらだひとし) ②生まれは愛知県ですが蓮田市に住んで40年になりました。③今までユネスコとは無縁でしたが、田村会長の熱意と強いお誘いにより今年の総会から参加させていただきました。ユネスコ世界遺産という単純な認識でしたが、地域の文化遺産に関する地道な取り組みなど新しい側面を知りました。地域の結びつきが薄くなるこの頃ですが、協会の活動により少しでも「ふるさと」への愛着を深める活動

①執筆者
②今までの歩み
③ユネスコ活動への抱負
(敬称は省略しています)

柴山利幸



①柴山利幸 (しばやまとしゆき) ②埼玉県旧浦和市③現在はソリークライミングのインストラクターとして関東各地で講習会を開催し、子どもたちが自然と触れ合うきっかけを増やす活動をしています。NPO法人の活動を通して、「自然を規範にする教育」の啓発に取り組んでいます。③近年は山の海外遠征の際、現地の学校の視察を行なっています。国際的な枠組みであるユネスコスクール

世界遺産TIDS

今年長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録されました。潜伏キリシタンという言葉は聞き慣れない言葉ですが、どういう意味なのでしょう。潜伏キリシタンとは、徳川幕府によってキリスト教が禁止された人々を指します。禁教期にもかかわらず、密かに信仰を続けた長崎天草の独特な伝統の証拠と全体の価値が評価されました。世界遺産の登録により、信仰が根ざした風土全体を住民や自治体が改めて考え直し、それぞれが担い手として、文化や景観を保全継承していくという地域振興に繋がっています。(Y・M)

第69回日本ユネスコ協会連盟定時総会報告

全国大会・プロ研の在り方を検討審議する IT・WEBの活用で予算削減も検討

日時 2018年6月16日(土)14時30分~16時40分
分場所 朝日生命大手町ビル27 今回は持続させる為の運営上の切実な問題提起・例えば情報共有の方法とか、会員増対策、財務基盤の確立など審議が目立つ総会であった。危機感をもつ協会からの意見も活発であった。総会は、物故者への黙祷から始まった。大橋会長挨拶の後、新規加盟・立川ユネスコ協会の紹介・挨拶があった。議題に移り第1号議案 前年度分承認第2号議案 全国大会を9ブロックの輪番制とする承認(受託地減少の傾向あり)・(開催希望があれば都度検討) 因みに2020年は中国ブロック予定・開催主管協会の負担軽減策として1日開催を原則。但し2日間開催する事を否定しない。開催地協会は赤字を出さないように支出額の上限を決めて実施する。特



埼玉県ユネスコ 連絡協議会開催

4月14日(土)午後2時から蓮田市立図書館会議室において2018年度の理事会(総会)を開催しました。会議には秩父ユ協を除く埼玉県内6ユ協の代表者・理事が出席されました。冒頭田村協議会会長より「ユ協間の相互理解と連帯感を高める為の情報共有化を促進していきたい」との挨拶がありました。審議事項である前年度の事業報告と会計報告並びに今年度の事業計画と予算案は原案通り認められました。次に、2018年度の関東ブロックユネスコ活動研究会の分科会において、埼玉県より2件の発表(①自由の森学園②秩父ユ協)を行うことを紹介しました。最後に蓮田市内で開催される2019年度関東ブロックユネスコ活動研究会について協議しました。決定したことは、開催日を10月5日・6日、開催場所を蓮田市総合文化会館(ハストピア)及び大会テ-

マを「Peace for Tomorrow」(ひろげよう平和の心) 平和な社会の実現を目指し、共に学び・共に語ろう」です。次回の理事会は8月2日に蓮田市内で開催予定ですが、分科会のテーマ等を更に協議してまいります。プログラムの内容は次回会報でお知らせできると思いますが、当地で開催される関係のブロに一人でも多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

第74回日本ユネスコ 運動全国大会

in函館に参加 (函館芸術センター7月7・8日) イランクラブヤ

初日 上磯中吹奏楽部の勇壮な演奏で幕を開けた。式は主催者挨拶と各省庁来賓・県・市の祝辞が続く。基調講演は「人口減少時代における幸福を考える」と題して講話があり函館野外劇で縄文からの函館史を学んだ。ESD活動報告と西村幸夫氏司会で「未来遺産運動10周年フォーラム」が

あった。交流会は500名が場所をホテルに移動し始まる。ピアノ・ソプラノに続き、江差追分名人・菊池勲氏が場を盛り上げてくれた。2日目は9時開催。縄文文化交流センター・阿部千春氏が講義。その後、パネルディスカスは函館・アイヌ協会会長・加藤敬人氏他3名「北の大地から次世代へ」の大会テーマのもと、大津県連会長が司会を担った。2008年「アイヌ民族法」制定でアイヌが「先住民族」として位置された経緯や教育現場での取組が説明あり。その際に出た言葉「イランクラブヤ」(こんにちは・あなたの心にそつと寄り添いますの意)此の言葉こそ「自然と共生」してきたアイヌ人の優しさを表し、倭人との共生を可能にした言葉であると感じた。次に「青年活動の今」を石狩ユ協・新屋彩さんが3歳の乳飲み子を抱きながらユネスコ活動する姿に皆感動した。彼女曰く、ユ協に入るきっかけは「意思が特別あった

2018年度活動計画

月	日	活動内容	備考
4	14	理事会 埼玉県ユネスコ連絡協議会理事会、総会	蓮田市図書館
5	12	理事会、2018年度総会	蓮田市中央公民館
	29	日豪音楽交流会	蓮田中学校
6	2	理事会	蓮田市中央公民館
	9	第18回文化遺産めぐり 南極・北極科学館	極地研究所(立川市)
	16	第67回日本ユネスコ協会連盟年次総会	朝日生命ビル
7-8	第74回日本ユネスコ運動全国大会in函館	函館芸術ホール	
7	14	理事会	蓮田市コミュニティセンター
	下旬	会報19号「きずな」発行	
8	2	埼玉県ユネスコ連絡協議会理事会	蓮田市総合文化会館
	11	理事会	蓮田市中央公民館
9	8-9	関東ブロック・ユネスコ活動研究会in水戸	水戸市芸術センター
	15	理事会	蓮田市中央公民館
10	9	第12回国際文化スタディ(その1) ユネスコスクール支援事業	蓮田中学校
	13	理事会	蓮田市中央公民館
	27	創立10周年記念第15回地域文化遺産スタディ講演 (武蔵野、心の原風景を語る) 講師:学習院大学教授 赤坂憲雄氏	白岡市生涯学習センター (こもれびの森)
11	1~10	書きそんじハガキ回収キャンペーン開始(11月~3月)	
	19	第12回国際文化スタディ(その2) 兼ユネスコスクール支援事業	蓮田中央小学校
12	1	理事会	蓮田市中央公民館
	8	理事会	蓮田市中央公民館
下旬	創立10周年記念誌、会報20号「きずな」発行		
1	12	理事会	蓮田市中央公民館
2	9	理事会	蓮田市中央公民館
3	9	理事会	蓮田市中央公民館

わけではなく偶々カンボジアツアーに参加して、途上国の取組を必死でやっているユネスコ活動に感銘を受けたからだ。・最後に日ユ協連鈴木理事長が登壇、挨拶の後、来年開催担当・都ユ協連平井会長から「9月6・7日」の日程と場所は豊島区内を検討中で「皆様お出でませ」・・と20名の登壇者が声を揃えて閉会となった。



二日間に亘る大会は内容が豊富で、今までにない充実感がありました。北海道ユ協連・函館ユ協の皆様のおもてなしの心と立派な大会を遂行された努力に対し心から感謝と敬意を表します。(完)

編集後記

このたびの西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」により犠牲となった方々にお悔やみ申し上げるとともに、被害にあわれた全ての皆さまに心よりお見舞い申し上げます。(理事一同)